

笑顔で福を届けたい 西宮神社

100人が参加 巫女研修会

商売繁盛の神様「えびっさん」の繪本社として知られる「西宮神社」（西宮市社家町）で23日、正月や十日えびすに巫女を務める女子学生らの研修会が開かれ、約100人が参拝者を迎える心得などを学んだ。

巫女は10月に募集を始め、約300人の中から面接などで約130人が選ばれた。31日から来年1月17日まで参拝者に対応する。

研修会では、緋袴などに身を包み、髪を整えた女性やすらりと並び、吉井良



昭留司が「えびす様のように優しい笑顔で参拝者を迎え、みなさんの手を通してたくさんのお福を授けてください」とあいさつ。その後、福笹やおみくじ、50種類近くあるお守りなどを授ける手順を確認した。

福笹を授ける武庫川女子大2年の小屋敷葉琴さん（19）は「巫女さんは小さい頃から憧れたのですごく楽しみです。笑顔でみなさんに福を届けたいと話していた。」

（龍門和諒）

お守りやお札の種類などを確認する女子学生ら
西宮神社